

2012 IEEE Silicon Nanoelectronics Workshop(SNW)

本学会は 20 VLSI Symposia の satellite workshop として、Honolulu の Hawaiian Village にて 6 月 10,11 日に開催された。セッションは、ゼロパワーエレクトロニクス、熱対策とナノスケールメモリ、チャネルとゲートスタックの先進的素材、スピントロニクスデバイス、単電子デバイスと量子輸送、ナノスケールの現象に関するものというようにグループがわかれている。自分の研究とマッチするセッションは多くはなかったため、Si を用いた他の研究分野について深く理解することは難しかったが、どのような研究が行われているかを知ることが大変有意義だった。

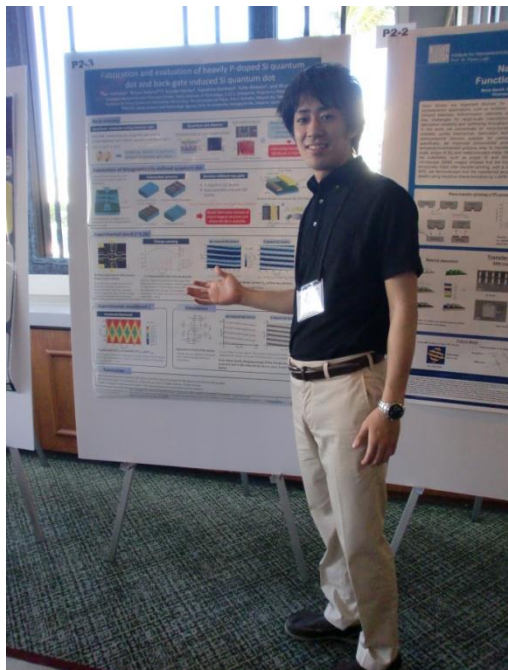
学会でのオーラルプレゼンテーションの聴講に関しては、自分と似た分野であればだいたい理解することはできたが、少し違う分野については、分からない用語などがある中で早い英語のスピーチを理解するのは少し大変であった。しかし、研究室に入った当初と比べると、日々のミーティングや留学生との日常会話などで英語を聴くことには慣れてきていたので、内容が全くわからないということにはなかった。英語のリスニングに関してはこれからも勉強を続けていきたい。また、質疑応答の際に勇気を出して質問することもできたのも良い経験になったと思う。反省点としては、内容を理解しようとすることに集中していて Abstract に書いていないスライドの内容を的確にメモすることができなかった。あとでまとめる際に、意外と大事なことが Abstract に書いていない場合があるので、次回からは気をつけようと思った。

ポスタープレゼンテーションの聴講に関しては、積極的に気になる内容を質問することができた。学部四年生の時に応用物理学会に参加した時は、留学生の英語での説明が全く理解できなかったのだが、今回は英語でのディスカッションも十分にでき、成長を実感することができた。アウトプットに関しては問題なかった(と思う)が、やはり何度か意味を理解できず聞き返したり、結局よくわからなかったというようなこともあったので、リスニング力を高めなければならないと改めて実感した。

1 分間のショットガンスピーチ(自分のポスターの内容を簡単に説明するもの)では、先行の発表を見ていて、ある程度どのようにやればよいかがあった。そのため問題なく話せたのではないかと思うが、まだセルフモニタリングできるほど落ち着いて話せてはいないので、プレゼンテーションの力もまだまだだと実感した。

ポスター発表については、やはり一回では聞き取れないことも多かったが、答えられない質問はなかった。話しかけやすいということもあってか、日本人の学生からの質問が多かった。日本語でのディスカッションのほうが深い話ができしたが、英語でもそのようなレベルでのディスカッションができるようになりたいと思った。

外は半袖でも暑いと感じるくらいだが、学会会場は空調が効きすぎて寒かった。学会のスタイルについても、日本ほど堅いものではなく全員スーツというわけでもないのは話に聞いていたが、食事などがでるということに驚いた。



ポスター発表



食事やお酒(ポスター発表中)

ポスター発表中に写真を撮る人はさすがにいなかったもので、セッションが終わってから撮影した。ポスターセッション中は、先生方はお酒を飲みながら知り合いと談話しているシーンなどが多く見られた。とある研究者の「学会は同窓会のようなもの」という言葉を思い出した。

ハワイと言えば世界的な観光地であるため、学会の時間外には様々な観光名所を訪れたので時系列順に紹介する。

### ●モアナルアガーデン Moanalua gardens

日立の樹で有名。ただ、木しかないので20分もあれば満足できる。観光客もほとんど日本人しかいない。交通の便がないが空港から近いのでタクシーで一番初めに来た。



●ホテル ハワイ ワイキキパーム



エントランス



シティービューでも十分良い雰囲気

小寺先生とここで待ち合わせをした。学会会場からも、ワイキキビーチからも近く非常に安い(ツインベッドの部屋が2人で一泊1万円)。ただ、日本語は通じない。



学生に負けないテンションの小寺先生



ホテルに隣接するレストラン

以上に甘ったるいシナモンのパンケーキをなんとか完食。食べ終わったら Check please. と言うかそのまま代金を机に置いておくということを学習。チップを 15%程度上乗せしなければならぬのが面倒。



カメハメハ大王のパレード(6月限定)



The Bus で次の目的地へ移動。

The Bus は地元住民の足。片道 2.5 \$ で、3 時間以内ならもう一度乗り換えができる。

●ハナウマ湾 Hanauma bay



一度離れ離れになってしまったが無事再開

ハナウマ湾

ハナウマ湾はオアフ島で最も綺麗な湾なので、たとえバスを1時間以上待っても行ったほうが良い。環境保全が徹底されており、20分のビデオ(リスニングの練習になる)を見てから中に入れる。7\$くらいの入場料が取られた。



シュノーケルではウミガメも見られる



バカンスにきた人でにぎわうビーチ

●ワイキキビーチ Waikiki beach

説明するまでもなくオアフ島の定番。ワイキキは水が湧くという意味らしい。



フラダンスを踊る人たち



遠くに見えるのはダイヤモンド・ヘッド

海には入らなかったが、とにかく雰囲気が良い。

●アラモアナショッピングセンター

とても大きなショッピングセンター。Crocs のサンダルなどが安かったので買った。



レストラン マリボサで食事。



ショッピングセンターの一角

●ダイヤモンドヘッド

朝 4 時半に起きて登頂を計画。しかしゲートが開くのは 6 時からなので注意が必要。



頂上から見渡すワイキキビーチの展望に疲れも吹き飛ぶ。

途中から観光ガイドを書いているような気分になってきたが、学会の内容も興味深く、また英語のみでの発表や聴講はとても勉強になった。また子供の時以来初めての海外で、文化の違いにいろいろ戸惑うことも思い出になり、非常に素晴らしい体験をさせて頂き感謝しています。

